

インターナショナル ビジネス マシースズ(IBM)

【セクター】 ITサービス

信買

【市場】 NYSE

【企業概要】

企業向けITサービスの大手。メインフレーム（大型汎用コンピュータ）、パソコンを開発したコンピュータ創成期の覇者。企業ITシステムの変遷を受けて同社の事業内容も変化を経てきました。現在の部門は、2021年12月期売上の42%を占めるソフトウェア部門（ハイブリッド・プラットフォーム&ソリューション、トランザクション処理を含む）、同31%を占めるコンサルティング部門、25%を占めるインフラストラクチャ部門からなります。25年以上連続で増配している「配当貴族指数」の構成銘柄です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	57,351	7,174	7.93	6.55	21.0	29.1	14.4
22.12期	57,351	7,174	7.93	6.55	21.0	29.1	14.4
23.12期（予）	60,754	8,650	9.59	6.82	41.8	33.3	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】

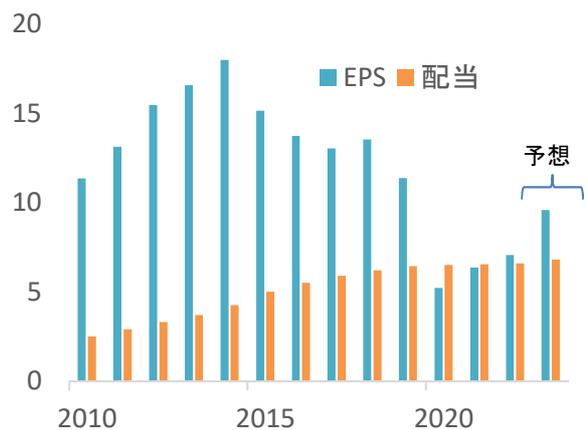
10-12月期の部門別売上

	売上高 (億ドル)	前年同期比 (%)
ソフトウェア	73	8
ハイブリッドプラットフォーム&ソリューション	52	10
トランザクションプロセッシング	21	3
コンサルティング	48	9
ビジネストランスフォーメーション	22	7
アプリケーションオペレーション	16	12
テクノロジーコンサルティング	9	10
インフラストラクチャ	45	7
ハイブリッドインフラストラクチャ	31	11
インフラストラクチャサポート	14	0
合計	167	6

注：前年同期比は為替の影響を除くベースで、「その他」を表示していません。

（出所）会社資料よりSBI証券作成

EPSと1株当たり配当（ドル）



（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

企業のITシステムがクラウドへと移行するなか、メインフレームを中心としたレガシーシステム（古いタイプの企業情報システム）で高いシェアをもっていたことが足かせとなり、ここ数年は売上がなかなか伸びない状況が続いていました。一方、2019年7月にオープンソースソリューションのレッドハット社を買収して「ハイブリッドクラウド」の分野で攻勢をかけています。さらに、2021年11月には、低成長となっているインフラストラクチャ事業のうちサービス部門をキンドリル社として分離しました。クラウドおよびAIに対する需要拡大を取り込んで成長できる体制を模索しています。

【見通し・注目点】

10-12月期決算は、売上が前年同期比0%（ドル高の影響を除いて同6%増）、調整後EPSは同15%増と堅調でした。販売管理費を前年同期比5%減に抑えたことが利益の増加につながりました。為替の影響を除いた売上成長率は、ソフトウェア、コンサルティング、インフラストラクチャ各部門とも1桁台後半で堅調、ソフトウェアのハイブリッドプラットフォーム&ソリューションに含まれるレッドハットは、同15%増と高い伸びが続いています。2023年12月期は、売上が為替の影響を除くベースで1桁台半ばの成長率、フリーキャッシュフローは105億ドルで、前年比10億ドル以上の改善を見込みます。

## 本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。